



JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

Branding Book

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ブランドブック

Index

	Index	
i	はじめに	Introduction
1-1	コーポレートシンボルマーク - 標準版 1	Corporate Symbol Mark / General 1
1-2	コーポレートシンボルマーク - 標準版 2	Corporate Symbol Mark / General 2
1-3	コーポレートシンボルマーク - ガイドライン 1	Corporate Symbol Mark / Guideline 1
1-4	コーポレートシンボルマーク - ガイドライン 2	Corporate Symbol Mark / Guideline 2
2-1	コーポレートロゴマーク - 略称 ガイドライン 1	Corporate Logomark / Abbreviation Guideline 1
3-1	コーポレートロゴタイプ - 和文 ガイドライン 1	Corporate Logotype / Japanese Guideline 1
3-2	コーポレートロゴタイプ - 英文 ガイドライン 1	Corporate Logotype / English Guideline 1
4-1	コーポレートロゴセット - ガイドライン 1	Corporate Logoset / Guideline 1
4-2	コーポレートロゴセット - ガイドライン 2	Corporate Logoset / Guideline 2
4-3	コーポレートロゴセット - ガイドライン 3	Corporate Logoset / Guideline 3
4-4	コーポレートロゴセット - ガイドライン 4	Corporate Logoset / Guideline 4
5-1	特殊な用途 1 〈ワッペン〉 2 〈七宝〉	Special product / 1 Patch, 2 Cloisonne
5-2	特殊な用途 3 〈シルクスクリーン〉	Special product / 3 Silk screen

このブランドブックに示したレギュレーション等についての不明点、ガイドを外れた使用を検討する場合、
日本ライフセービング協会 広報室までお問い合わせください。
press@jla.gr.jp

各ロゴの呼称については、下記参照のこと。

シンボルマーク



英文名称及び略称を、円形のデザインにまとめたものを「シンボルマーク」と呼ぶ

ロゴタイプ

公益財団法人
日本ライフセービング協会

正式名称をデザイン化したものを「ロゴタイプ」と呼ぶ

ロゴマーク



英文略称をデザイン化したものを「ロゴマーク」と呼ぶ

はじめに



このシンボルマークは、公益財団法人日本ライフセービング協会の前進である
日本サーフライフセービング協会と
日本ライフガード協会における歩みを忘れることなく、
従来のマークをそのまま円のなかに残し創りました。

2001年、念願の内閣府法人認証を受け、
また国際連盟日本代表機関としての新たな歩み（志）を表すことを象徴としました。
水の星「地球」をベースとして、世界を視野に、
2分にひとりの水の犠牲者を減らすという国際連盟設立の趣旨へ、
我が日本協会の国際貢献を強く表現したデザインです。

このシンボルマークが、水辺の事故ゼロをめざす皆さまにとって誇りあるマークになりますよう、
こちらから願っています。

コーポレート シンボルマーク - 標準版 1

Corporate Symbol Mark / General 1

フルカラー



本デザイン、配色を標準シンボルマークとする。印刷物、モニター表示など各メディアにおける調色は下記を参考とする。



CMYK C30%, M100%, Y100%, K0% / **DIC197**
RGB R184, G028, B034
Web #B81C22



CMYK C100%, M70%, Y0%, K30% / **DIC184**
RGB R000, G072, B152
Web #005BAC



CMYK C0%, M15%, Y100%, K0% / **DIC166**
RGB R255, G217, B000
Web #FFD900

単色 <濃淡あり>



単色の濃淡で使用する場合、本配色比率を標準とする。なお使用色は、原則としてシンボルマーク色での展開を推奨する。

例 1



例 2



例 3



コーポレート シンボルマーク - 標準版 2

Corporate Symbol Mark / General 2

単色 <濃淡無し>



濃淡表現を用いることができないメディアでは、本シンボルマークを使用すること。なお使用色は、原則として黒、または白抜きとする。彩色する場合は「ロゴマーク色」での展開を推奨とし（例 1、2）、その他のカラーは原則として使用しない（例 3）。

例 1



例 2



例 3

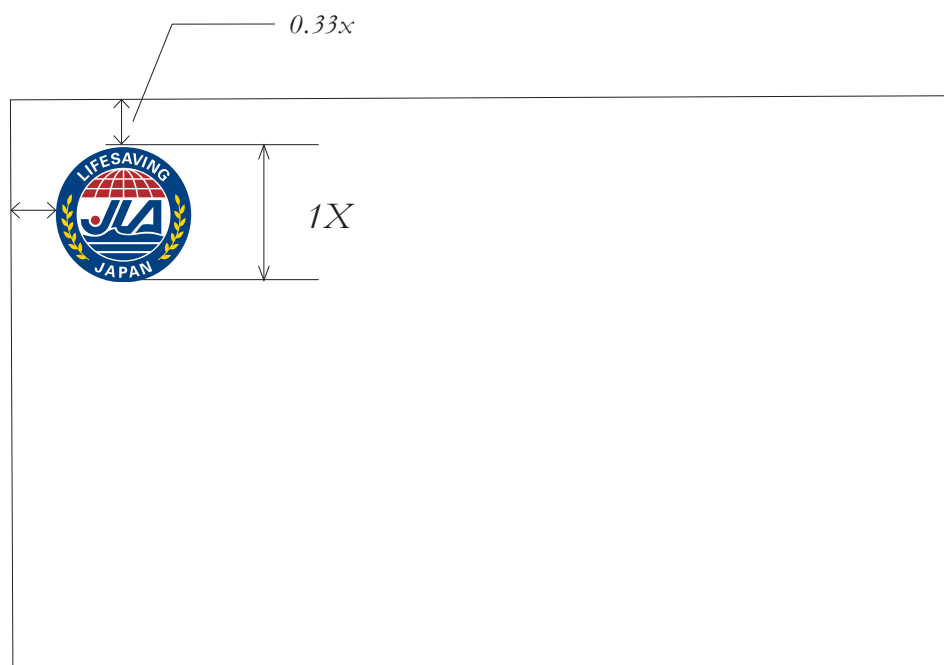


余白・位置

例えばこのように、長い本文へ沿わせるようにロゴを配置する場合などは、余白を右記の通り設定することを推奨する。



デザインに配置する際、他の要素とロゴマークの間には十分な余白を設定すること。目安として直径の20%以上を推奨する。
ただし、当協会ロゴタイプとの併用においてはこの限りではない。



デザインに配置する際、特に用紙の四辺に対して、ロゴマークとの距離に十分な余白を設定すること。目安として直径の33%以上を推奨する。

コーポレート シンボルマーク - ガイドライン 1

Corporate Symbol Mark / Guideline 1

背景色との関係について 1

明るい背景色では、特に加工をしない



背景色が明るい色の場合、最外周の黒い線はそのまま表現する。

明るさの目安としてはマンセル値で $v5$ 以上とする。なおこのサンプルの背景色は「5Y 9/12」とし、 $v=9$ である。

暗い背景色では白い縁取りを設定する



背景色が同系色、または極端に暗い色の場合、最外周に白い線で縁取りをする。縁取り線の太さは、図に示すとおり「内周の余白幅」と同等とする。

背景色の暗さのしきい値としては、マンセル値で $v5$ 未満とする。なおこのサンプルの背景色は「7.5PB 3/24」なので $v=3$ である。

外周線と内周線は同じ太さに設定する。
数値で求める際は、直径の 1.7% とする。
例) 直径が 100mm の場合、 1.7mm 。
本例では直径が 68mm なので、およそ 1.2mm となる。

背景色との関係について 2

反転色（白抜き）での使用



背景色と同系色での単色使用を禁ずる



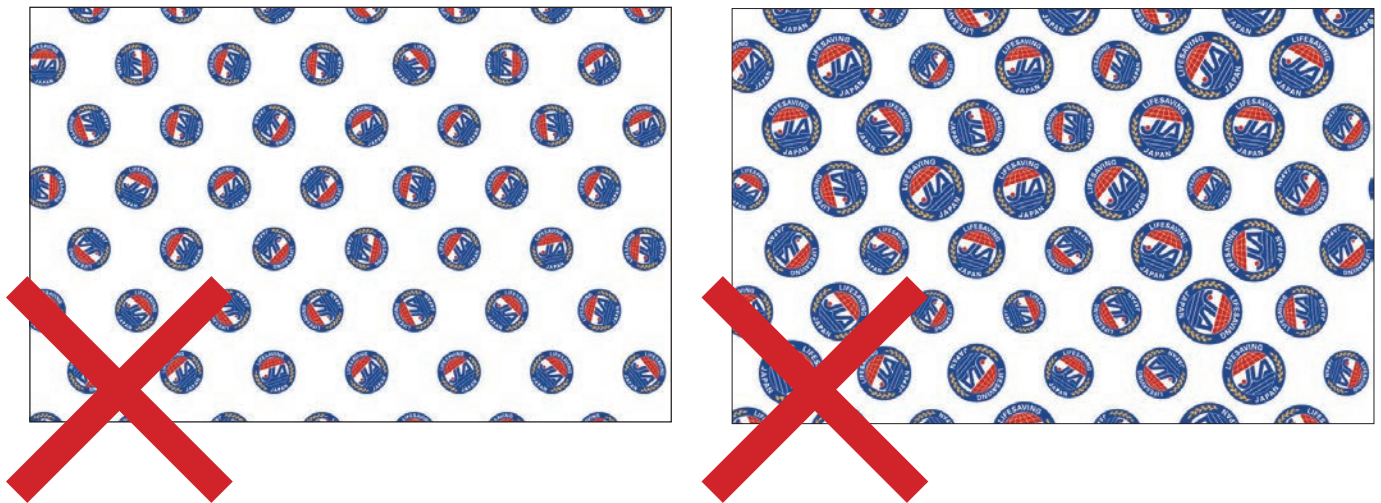
コーポレート シンボルマーク - ガイドライン 2

Corporate Symbol Mark / Guideline 2

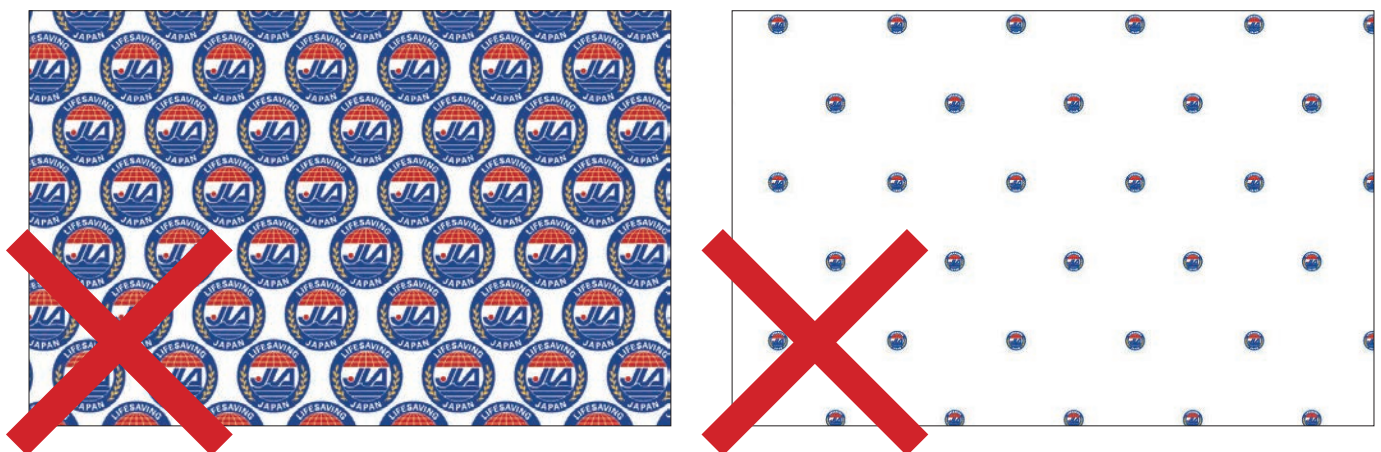
注意すべき用法 1 パターン化

必要に応じて、ロゴマークを連続配置した「パターンでの使用」は認められるが、下記のような使用を禁じる。

ロゴマークの、むやみな回転や大きさを乱した配置を禁ずる。



ロゴマークの、極端に高密度な配置、または極端に低密度な配置を禁ずる



注意すべき用法2 分解使用の禁止

ロゴマークを構成する要素を、1部分だけ個別に抜き出しての使用、
また、分解して再構成した使用を禁ずる。

●一部分だけの使用を禁ずる



●一部分だけの使用を禁ずる



●部分的に改変し、再構成することを禁ずる



コーポレートロゴマーク - 略称 ガイドライン 1

Corporate LogoType/ Abbreviation Guideline 1

略称の使用 1

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文略称として、JAPAN LIFESAVING ASSOCIATIONの頭文字をJLAと表記し、下記ロゴタイプを標準として使用し、配色はロゴマークに準じる。
なお、単色での使用に際し、濃淡表現は不可とする。

フルカラー



単色



CMYK C30%, M100%, Y100%, K0% / **DIC197**
RGB R184, G028, B034
Web #B81C22



K100



CMYK C100%, M70%, Y0%, K30% / **DIC184**
RGB R000, G072, B152
Web #005BAC



CMYK C0%, M15%, Y100%, K0% / **DIC166**
RGB R255, G217, B000
Web #FFD900

略称の使用 2

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文略称として、JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION の頭文字「JLA」を、掲載媒体に応じた書体で表示する際には、下記の点に留意して書体を選定すること。

なお、本文中での使用に際しては、本文と同書体であれば特に制限を設けないこととする。

- ゴシック体を使用し、明朝体はできるだけ避け、スク립ト体などは不可とする

JLA

例) メイリオ

JLA 

JLA 

- できるだけ平易な書体を選定し、特異な書体の使用を禁ずる

JLA

例) Arial

JLA 

JLA 

- 同書体であればできるだけ太いウェイトを選定する。

JLA

例) メイリオ

JLA 

コーポレートロゴタイプ - 和文 ガイドライン 1

Corporate LogoType/ Japanese Guideline 1

日本語表記 1

「公益財団法人 日本ライフセービング協会」を日本語表記として、ロゴタイプ表示する際には、下記「標準ロゴタイプ和文 A」を使用すること。必要に応じて、法人格の扱いを変更してもよい。

- 標準ロゴタイプ和文 A：法人格 + 正式名称

公益財団法人 日本ライフセービング協会

- 標準ロゴタイプ和文 B：法人格 小 (50%) + 正式名称

公益財団法人 日本ライフセービング協会

- 標準ロゴタイプ和文 C：正式名称のみ

日本ライフセービング協会

日本語表記 2

「公益財団法人日本ライフセービング協会」を日本語表記として、掲載媒体に応じた書体で単体表示する際には、下記の点に留意して書体を選定すること。

なお、本文中での使用に際しては、本文と同書体であれば特に制限を設けないこととする。

- ゴシック体を使用し、明朝体はできるだけ避け、スク립ト体（手書き風）などは不可とする -

公益財団法人 日本ライフセービング協会

例) 游ゴシック体

公益財団法人 日本ライフセービング協会

公益財団法人 日本ライフセービング協会

- できるだけ平易な書体を選定し、奇抜な書体の使用を禁ずる

公益財団法人 日本ライフセービング協会

公益財団法人 日本ライフセービング協会

- 同書体であればできるだけ太いウェイトを選定する。

公益財団法人 日本ライフセービング協会

例) メイリオ 横 95%縮小

公益財団法人 日本ライフセービング協会

コーポレートロゴタイプ - 英文 ガイドライン 1

Corporate LogoType/ English Guideline 1

英文表記 1

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記として、「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」をロゴタイプ表示する際には、標準書体として、下記を使用すること。

- 標準ロゴタイプ英文 A

JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

- 標準ロゴタイプ英文 B (3行組左寄せ)

**JAPAN
LIFESAVING
ASSOCIATION**

- 標準ロゴタイプ英文 C (3行組中央揃え)

**JAPAN
LIFESAVING
ASSOCIATION**

英文表記 2

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記として、「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」を、掲載媒体に応じた書体で表示する際には、下記の点に留意して書体を選定すること。
なお、本文中での使用に際しては、本文と同書体であれば特に制限を設けないこととする。

- ゴシック体を使用し、明朝体はできるだけ避け、スク립ト体などは不可とする

JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

例) Arial Bold

 JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

 JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

- できるだけ平易な書体を選定し、奇抜な書体の使用を禁ずる

 JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

 JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

- 同書体であればできるだけ太いウェイトを選定する。

JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

例) メイリオ

 JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

コーポレートロゴセット - ガイドライン 1

Corporate Logoset / Guideline 1

標準ロゴセット A

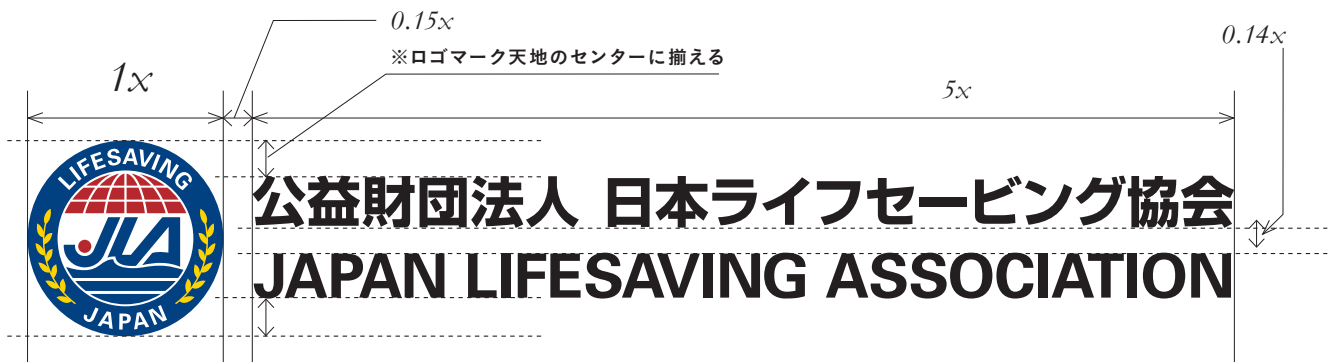
「公益財団法人日本ライフセービング協会」の最も公式なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ日本語表記、ロゴタイプ英文表記を組み合わせたセットは、下記を標準とする。

この組み合わせおよび比率をむやみに変更することを禁ずる。

● 標準ロゴセット A



公益財団法人 日本ライフセービング協会
JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION



標準ロゴセット 和文 B、和文 C

「公益財団法人日本ライフセービング協会」の標準的なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ日本語表記のみを組み合わせたセットは、下記を標準とする。

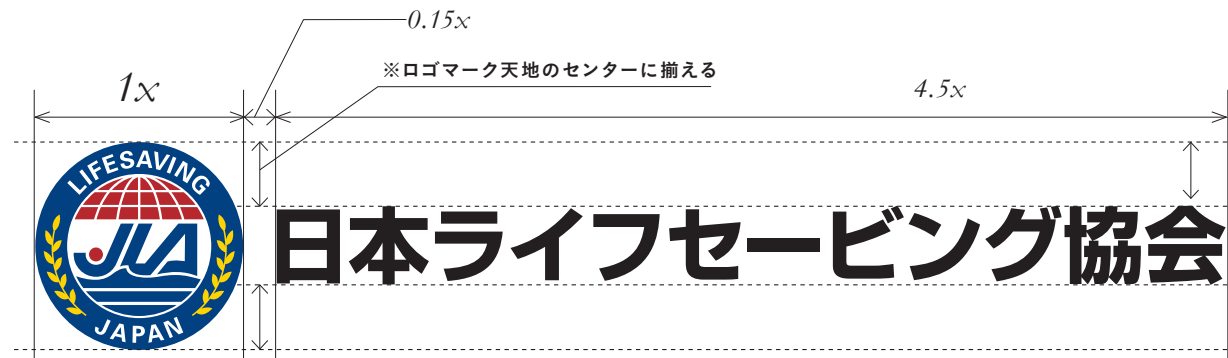
この組み合わせおよび比率をむやみに変更することを禁ずる。

●標準ロゴセット和文 B (法人格付き)



※標準ロゴタイプ和文 B を使用すること

●標準ロゴセット和文 C (法人格無し)



※標準ロゴタイプ和文 C を使用すること

コーポレートロゴセット - ガイドライン 2

Corporate Logoset / Guideline 2

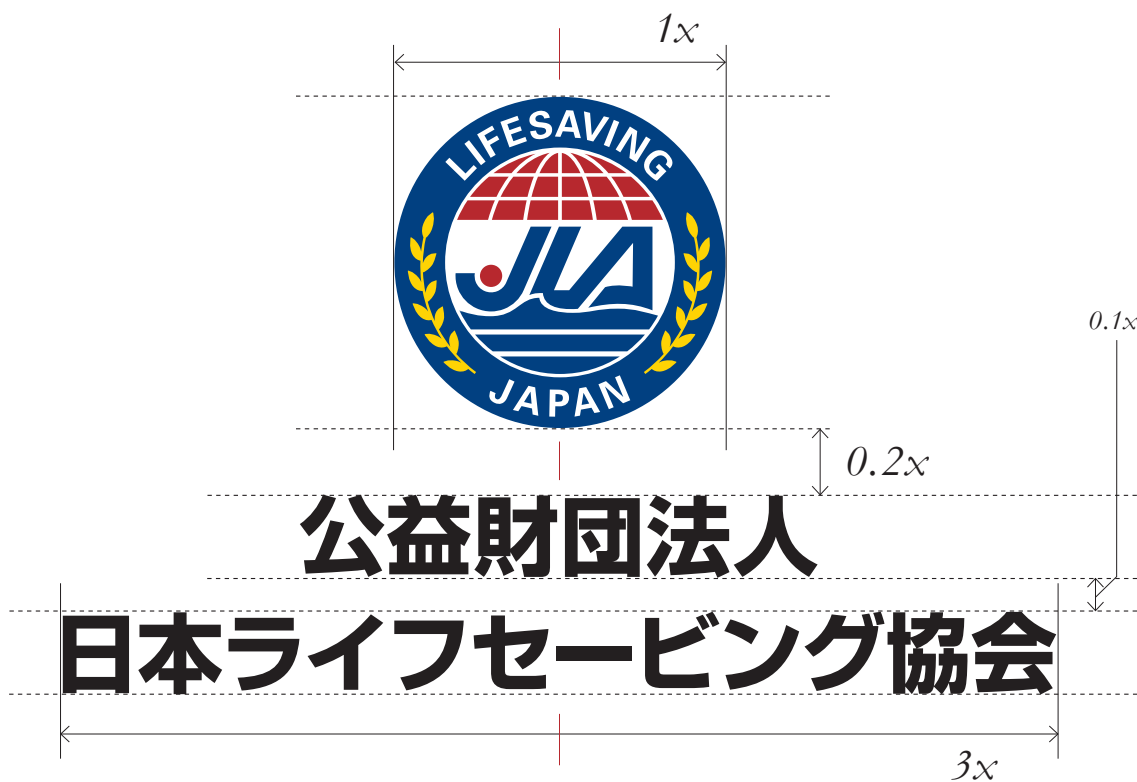
標準ロゴセット 和文 D

「公益財団法人日本ライフセービング協会」の準公式なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ日本語表記を組み合わせ、かつ映像媒体など、中央揃えのレイアウトを求められる媒体での使用の際に推奨する。

この組み合わせおよび比率をむやみに変更することを禁ずる。

●標準ロゴセット和 B (法人格付き)

※左右のセンターに揃える



※標準ロゴタイプ和文 A を使用すること

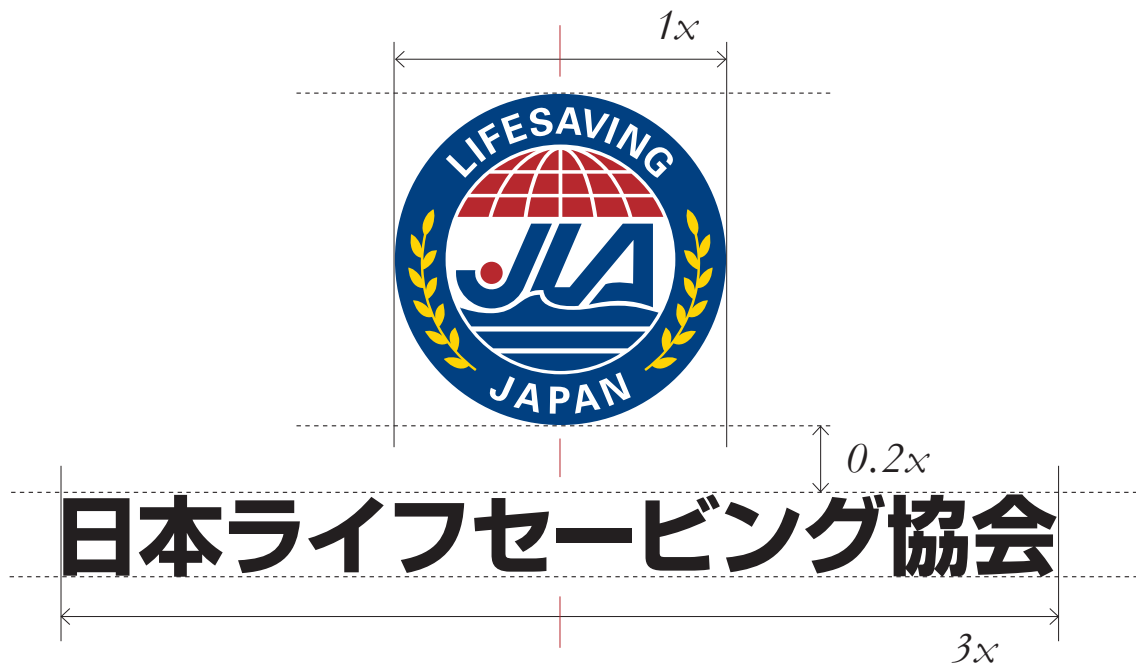
標準ロゴセット 和文 E

「公益財団法人日本ライフセービング協会」の準公式なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ日本語表記を組み合わせ、かつ映像媒体など、中央揃えのレイアウトを求められる媒体での使用の際に推奨する。

この組み合わせおよび比率をむやみに改変することを禁ずる。

●標準ロゴセット和 C (法人格無し)

※左右のセンターに揃える



※標準ロゴタイプ和文 C を使用すること

コーポレートロゴセット - ガイドライン 3

Corporate Logoset / Guideline 3

標準ロゴセット 英文 A

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記として、「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」を用いた標準的なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ英文表記のみを組み合わせたセットは、下記を標準とする。

この組み合わせおよび比率をむやみに改変することを禁ずる。

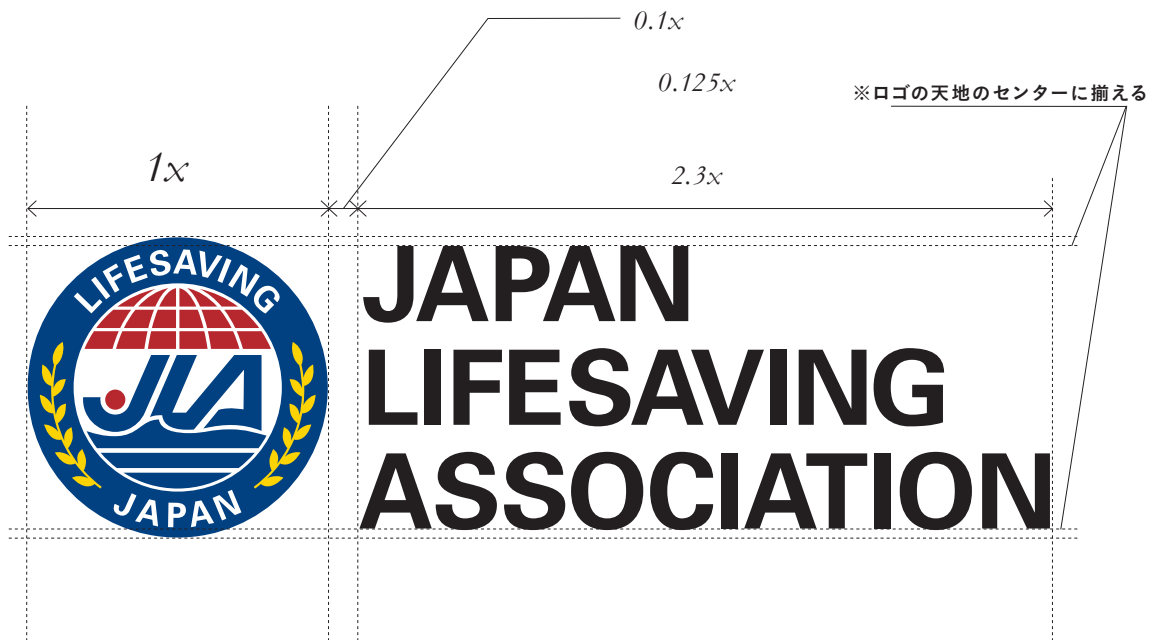


※標準ロゴタイプ英文 A を使用すること

標準ロゴセット 英文 B

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記として、「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」を用いた標準的なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ英文表記のみを改行して組み合わせたセットは、下記を標準とする。

この組み合わせおよび比率をむやみに改変することを禁ずる。



※標準ロゴタイプ英文 B を使用すること

コーポレートロゴセット - ガイドライン 4

Corporate Logoset / Guideline 4

標準ロゴセット 英文 C

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」を用いた準標準的なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ英文表記のみを組み合わせ、かつ映像媒体など、中央揃えのレイアウトを求められる媒体での使用の際に推奨する。

この組み合わせおよび比率をむやみに変更することを禁ずる。

※ロゴマーク左右のセンターに揃える



※標準ロゴタイプ英文 A を使用すること

標準ロゴセット英文 D

公益財団法人日本ライフセービング協会の英文表記「JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION」を用いた準標準的なロゴデザインとして、ロゴマークおよび、ロゴタイプ英文表記のみを組み合わせ、かつ映像媒体など、中央揃えのレイアウトを求められる媒体での使用の際に推奨する。

この組み合わせおよび比率をむやみに変更することを禁ずる。



※標準ロゴタイプ英文 C を使用すること


特殊な用途 1


Special product 1 - Patch


ワッペン - 必要に応じて、周囲に縫い取りを設定する

ワッペンを構成する「糸」の色は、下記 DIC 指定を参照すること。
また、必要に応じて周囲に「縫い取り」を設定可とする。その場合、使用する糸の色は、黒または濃紺を選択すること。具体的には下記に記す DIC の近似色を推奨する。また設置する地色に応じて、白を選択する事も可とする。




 **CMYK** C30%, M100%, Y100%, K0% / **DIC197**
RGB R184, G028, B034
Web #B81C22

 **CMYK** C100%, M70%, Y0%, K30% / **DIC184**
RGB R000, G072, B152
Web #005BAC

 **CMYK** C0%, M15%, Y100%, K0% / **DIC166**
RGB R255, G217, B000
Web #FFD900

縫い取りの色 (下記濃紺、もしくは黒とする)

 **CMYK** C100%, M90%, Y30%, K20% / **DIC256**
RGB R011, G045, B103
Web #0B2D67

特殊な用途 2

Special product 1 - Cloisonne

七宝 - 白地を地金とする

ピンバッジなどの七宝制作においては、白地を地金とする。なお、必要に応じて周囲に「縁取り」を設定しても良い。

縁取りの太さはワッペンの仕様に準ずる。



縁取りと内周線は同じ太さに設定する。
数値で求める際は、直径の1.7%とするが、
必要に応じて多少の増減は構わない。

特殊な用途 3 - シルクスクリーン

Special product 1 - Silk Screen

多色刷り、または単色での使用を標準とする

ロゴマークを用い、衣服などにシルクスクリーンによる印刷を行う場合は、ロゴ色3色による多色印刷か、単色による印刷を用いること。
なお網点を利用した単色での濃淡表現は不可とする。

フルカラー (3色刷り)



単色



CMYK C30%, M100%, Y100%, K0% / **DIC197**
RGB R184, G028, B034
Web #B81C22



CMYK C100%, M70%, Y0%, K30% / **DIC184**
RGB R000, G072, B152
Web #005BAC



CMYK C0%, M15%, Y100%, K0% / **DIC166**
RGB R255, G217, B000
Web #FFD900



使用サイズにおける注意点

ロゴマークを用い、衣服などにシルクスクリーンによる印刷を行う場合は、十分な大きさを確保して細部の表現を維持すること。

具体的には直径 50mm 以上での使用を推奨とする。





公益財団法人 日本ライフセービング協会

第1版 2022年4月1日発行
第2版 2022年4月6日発行